

常新新聞

刊夕、五十月三

定部金貳錢
一ヶ月廿錢
三ヶ月五拾錢
半年九十錢
一年一圓八十錢

廣告費
五號十二行
一號五號
一號五號

印刷所
川崎文治

磐城共濟病院

院長醫學博士 助川喜四郎

醫學博士 藤井秀旭
醫學博士 竹内俊一
醫學博士 小池徳造
醫學博士 近藤潤吉
醫學博士 河合健吉
耳鼻咽喉科醫學博士
松本本治
澤口清松
吉本孝平
大瀧潤家

速迅

切貨自動車
番七四話電
番七六一話電出呼
用十二
歲以上
女中入
平町南町

主 芹澤正忠

夜間診療

淋病 婦人病 專門
包莖 疝門 病部
院病村松
部科外

讀經の心もち

(一) 失名氏

常磐毎日新聞

朝晩、佛壇の前でつとめる
讀經は、何んのためにする
か。それには別段に理窟は
ない、生きてゐる勤め
すなはち勤行であるといふ
ことが出来る、しかし人各
々いろいろの考へで讀經し
てゐるであらう、もしくは
その考へが日により月によ
り氣候により気分により、
年代——青年時とか中年、
老年といふやうな年代によ
つて、いろいろに變つてゆ
くであらう。

私立平陽實科女學校生徒募集

高等女學部 一年 約五十名
二年(補欠) 若干名
師範部 約五十名
技藝部高等科 一年 約百名
速成科 五十名

願書提出 (左記書式) 入學願書履歷書ニ調印ヲナシ入
學金壹圓ヲ添へ三月三十日迄ニ提出スベシ
入學式 四月二日午前十時入學式舉行ス

平町紺屋町
沼澤醫院
電話四五〇七番

吉田屋染工場

手拭、消防被服 專染所
印半天、風呂敷

吉田屋染工場
電話五五八番

御進物

に物進御

博盛堂
店主阿部修
平町搔堀小路三十番地
電話(呼出) 四四九番

私の父は、本年七十五歳で
ある。私の物心を覺えてか
らこちらへといふもの、旅
行中を別にして、只の一日
でも朝と晩との讀經をせぬ
日がなかつた、先づ高まの
原から長々と始まつて今度
は佛前にうつる。たじかに
三十分間以上はかかる。老
父が何の考へで拜んでゐる
のか讀經してゐるのかその
意味や心持を、もちろん聞
きたがしたことも考へたこ
ともなかつた、ところが昨
年の暮に、故山で家兄が亡
くなつた、父は當然親とし
ての忌に服した、そのあい
だは、讀經は出来るが、穢
れてゐるといふので、神社

産婆、看護婦生徒募集

修業年限 産婆、看護婦兩科ヲ通ジテ一ケ年
創立卅年紀念トシテ教室増築、産院新設、一般婦孺産
婦入院ノ需メニ應ジ且生徒ヲシテ臨床看護セシム

願書提出 四月八日迄
寄宿、自炊ノ便アリ

平町一丁目
石城産婆學校
電話三五七番

校舎増築 産婆 看護婦 生徒募集

一、入學資格 小學卒業程度
一、修業年限 兩科通じて一ケ年
一、入學申込 三月末日迄(寄宿ノ便アリ)
海岸線平町南町

平産婆看護婦學校
電話三〇七

吉田屋染工場

手拭、消防被服 專染所
印半天、風呂敷

吉田屋染工場
電話五五八番

町平紺屋吉田眼科醫院

平町紺屋町
電話三五七番

本社主催大懸賞映畫 正解者抽籤

永らく問題の人として興味の中心であつた連続映畫「ライオンマン」中の怪人物は、青年ジョンカーペンダー、イツシユであり且つ善人と判明しました、愈々本十五日から四日間、有り聲座に於て興業中の時間を割き正解者の内から百廿名の受賞者を抽籤します、其日割は左の通りです

- 十五日 四十名 柱時計其他
- 十六日 同上 上
- 十七日 二十名 白米一俵其他
- 十八日 同上 桐箆筒其他

故に是非正解者は抽籤にお立會なされる意味で有聲座へお出を願います、若し常籤しても抽籤の當日御來館なすつて居られなかつた場合は其旨を十八日の午後六時迄に同座へお申出下さいまして賞品をお受取り願ひます、其日時迄に御申出なければ無効とします

尙ほ正解者は既報の如く「四百五十四通」でありましたが、締切後にも多数の応募者あり是れを捨つるは惜として忍びない點があるの、種々協議の結果去月廿五日迄に本社に到着した回答を有効と決し従つて正解者總數「五百十五通」に増加しましたから御承知を願ひます

常磐毎日新聞社

行政訴訟が延期された

裁判の都合に依り延期された日時は不日決定の筈

近く平町に家禽品評會

石城郡内有志家を以て家禽會を組織し郡農會の後援を得て平町に家禽品評會を近

農事實行講演

役員が參集

石城郡農事實行組合協議會は十七日上野野村小學校十八日平町郡役所會議室十九日磐崎村小學校内に於て午前九時より開催し組合役員



かびた餅の食方

餅がかびた時は、一晝夜程水につけ、よく水で洗つてかびを取り、セイロウで十分間も蒸せば、搗きたて

青年團員結束し

水道工事の請負

好間上の原のろ過地を昨日地鎮祭を舉行……

平町に於ては城山方面の上水道擴張工事費五萬餘圓を十五年度の豫算に計上したること既報の如く該工事の第一着手として昨十三日午後二時より石城郡好間村字上野原の濾過池に於て擴張工事の地鎮祭及起工式を舉げたが右工事は地元なる好間青年團請負の下に七月三十日迄に完成の豫定で右終了と同時に

城山方面

の配水池及鐵管埋設に着手し十五年度中には是非とも完成の豫定であると、なほ該工事に就ては香野水道課長之を監督指導するは勿論であるが今回事務の相接監督者として最近迄埼玉縣秩父町の

醫師の辯明

知らずに診斷

石城郡植田町の祖父殺し事件につき十三日平檢事局か

募集

文藝其他投稿を募集します

知り或は加害者にたのまれて右の診斷をしたものではありませぬ」と極力辯明してゐる

平町人事

出生

△鎌田町三三 荒木勝彦氏二男榮治 △鐵道官舎五號二 吉田岩松氏二女富子

新入學の持

讀者諸君へ

讀者諸君の御家庭に、この四月から尋常一年へ入學なさる坊ちゃん嬢ちゃんがお座になりましたら、本社はさうかお祝ひの微意を表する爲めに四月分の本紙を無代で進呈致します故ごうぞ本月末に配達係が集金に參上致しました際御遠慮なくお知らせを願ひます

のやうに新しくなりましたまたかびた餅を削り落し水のひいた御飯の上ののせて蒸すか、冷たい御飯と一緒に蒸すかすれば、新らしい餅のやうになります。またかびを落したのを味噌汁に入れて煮るのもたいいしくいただけます

等に食べる餅はつけ焼きが喜ばれます。先づやきをふんはりと焼きまして、すつかり焼ききらないうちにお醤油をつけてやくのですが、それに砂糖を適宜に入れるか、胡椒などを入るかして、好みの辛味をつけやき苔海で包んで頂くのも結構であります

論戰 花升生

文の戦いペン先きの折る、まじ治まれる平地に叫ぶ正義の派、満るまで慾の手引かぬ沙千狩、藏も建てそくね土臺に水が湧き、論の起りは水と火で派が合はす、戦端開始川と野の睨み合

再び野崎君に呈す

川崎文治

(第三)富豪と強盜の例を引いて僕を駁さんとしたのは寧ろ足下の無定見を暴露するものであり、兒戯に類する滑稽さ加減には、眞面目に足下の文を讀むに耐えず思はず失笑せしめられた。足下は、發電計畫に就て町當局初め當時の町議は一

考だに拂はず同意を與へてくれなかつたと云ふが、町當局は一考だに拂はぬ所ではない、水道部の調査資料を基へとなし、町會に於て慎重審議の結果町民の生命の源泉であるべき上水道の水量を減じ、且つ水質を汚損混濁せしむる等校舉に暇あらぬ脅威を與へて餘りある計畫なるを確かめ企業者の懐中を肥さんが爲めに三萬町民の生命を踏み台たら

しむるに忍びずと爲し、断然不同意を決するに至つたものであつて、其事は大正十二年六月二日伊坂町長より縣知事宛に提出した不同意の上申書に依つても明らかである、平町を此問題に付き騒動化せしめたのは誰れかと足下は云ふが、夫れは聞く迄もなく、足下自身である足下等が斯かる企てを敢えて爲さなかつたならば、平町は下穩無事永久に安心して冷瑠瑠の如き水の恩恵を蒙るに隨喜し得たのである

過ぎたと云ふが如き事實は天地神明に契つてない、従つて是れが爲めに一文一錢たりとも町費は支出され居らぬ、斯くも明らかかな一點の雲りなき事實に對し嘘萬八を捏造して洒々然と尤もらしく浪布せらるる足下であるが故に、其計畫事業等に對し世間が信を置かね事も當然であらうと信ずる

(第五)町長特別費用辨償から支出すべき費用を雜給費用辨償から支出した、夫れは事務上の單なる錯誤である、若し町長特別費用辨償に計上された金を使へ果して故意に雜給費用辨償の費目より支出せらるる如き次第であつたならば許すべからざるも、左様な譯ではなく誤つて雜給費用から支出し